
当社事業戦略と低油価を受けての最近の取組について

2016年3月9日

国際石油開発帝石株式会社

上流事業の成長戦略

バランスの取れた
ポートフォリオ

成長ドライバーとなる
プロジェクトの推進

埋蔵量・生産量の
持続的成長

基盤整備

適切な投資基準による
プロジェクト管理

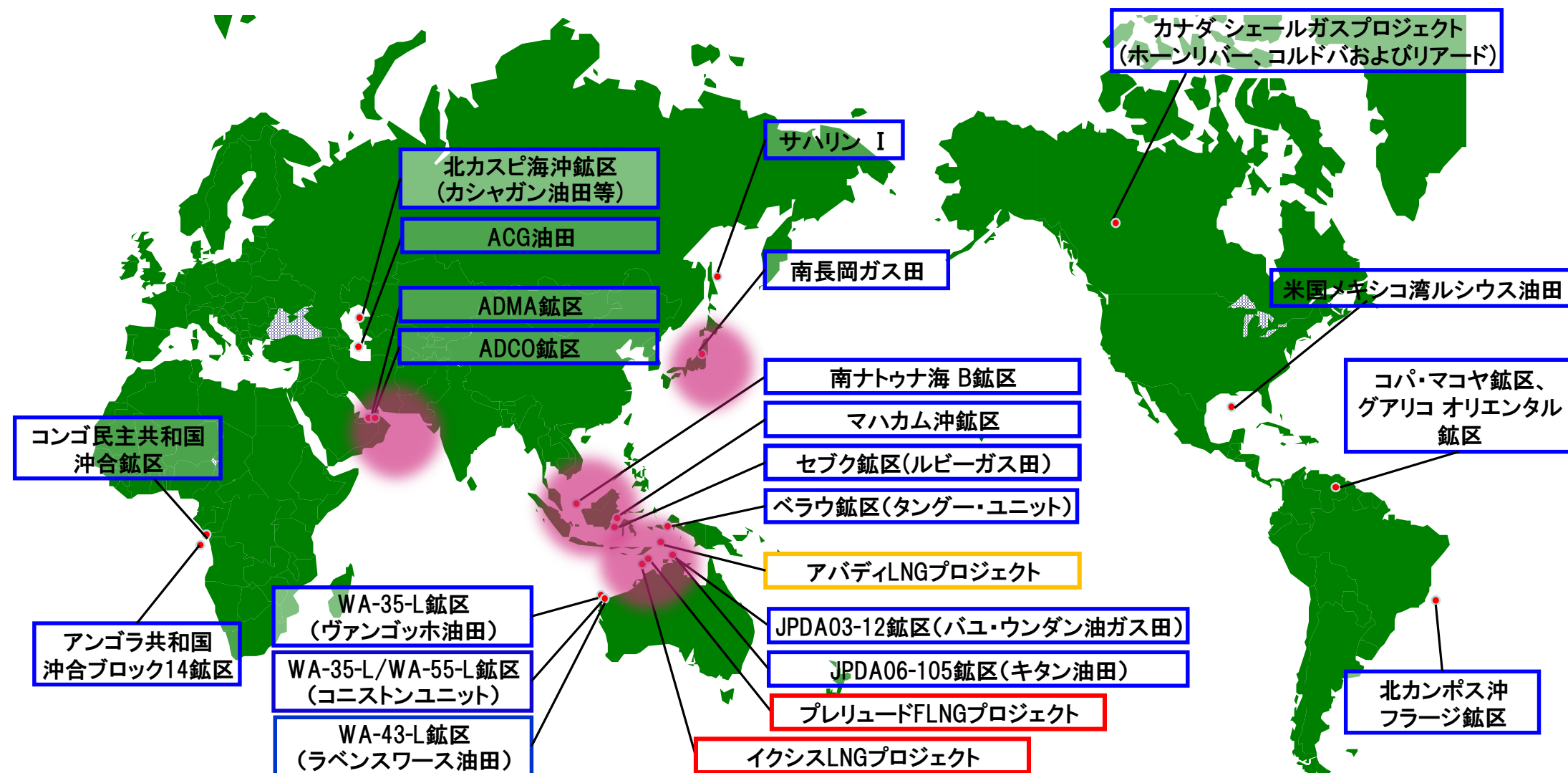
強固な財務基盤の維持

技術開発・人材育成



我が国石油・天然ガス開発の中核的企業として
国際上流専門企業トップクラスを目指す

当社の主な生産・開発プロジェクト



生産中

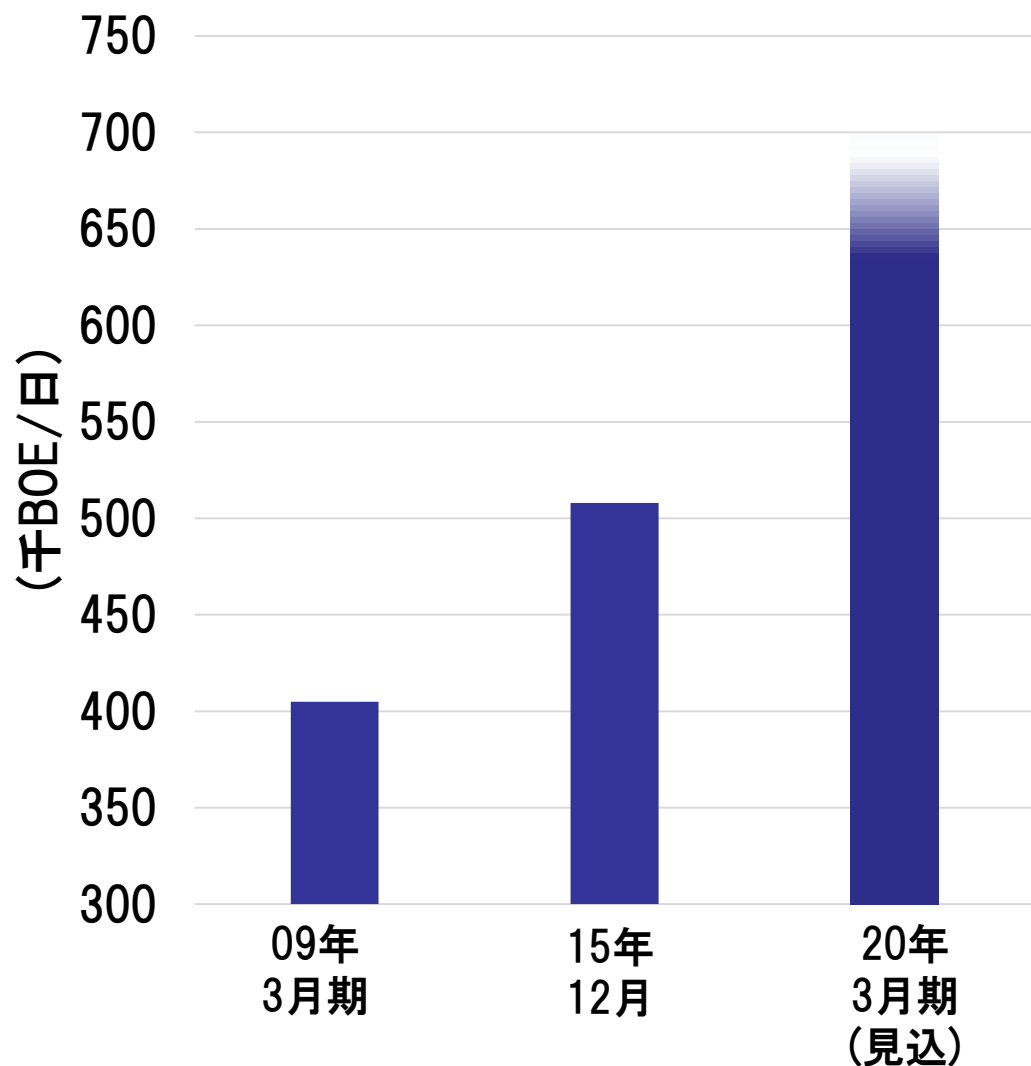
開発中

開発準備作業中

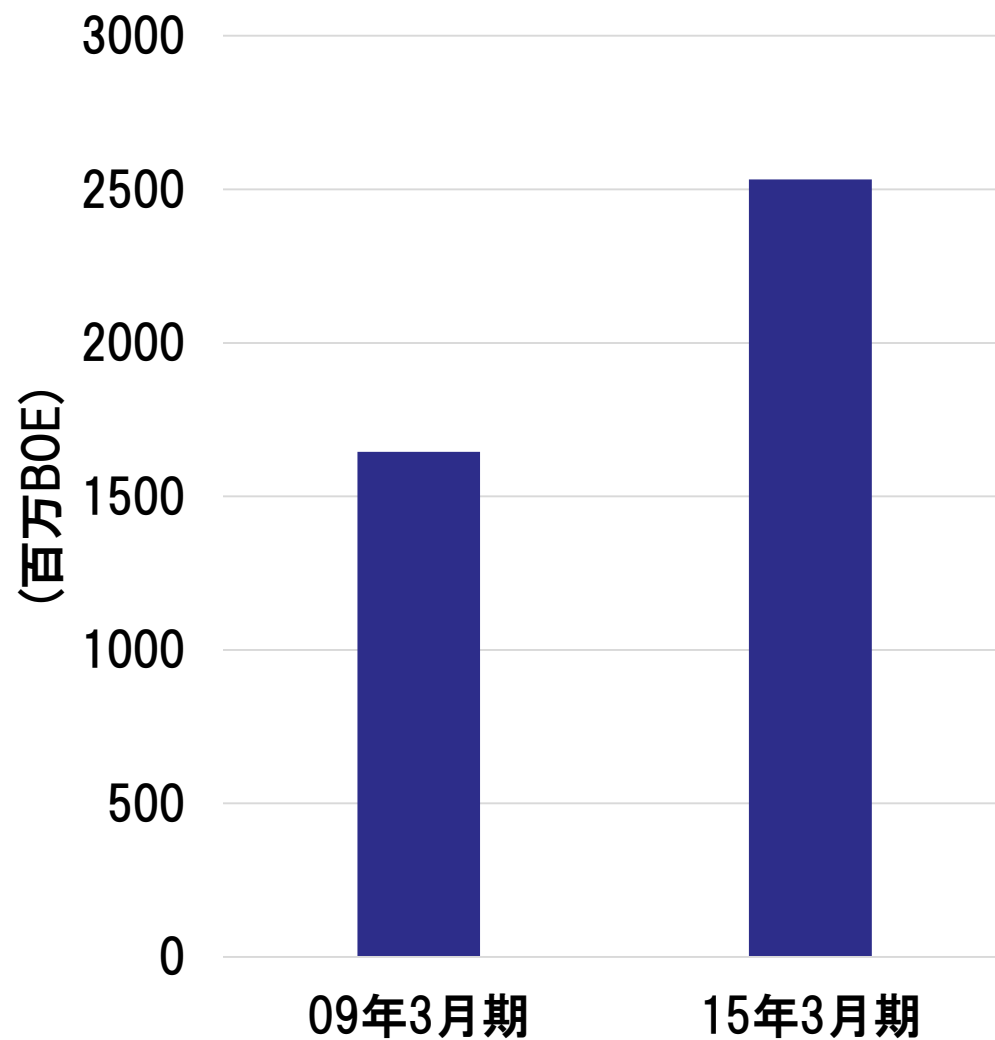
当社の生産量・確認埋蔵量*の推移



生産量

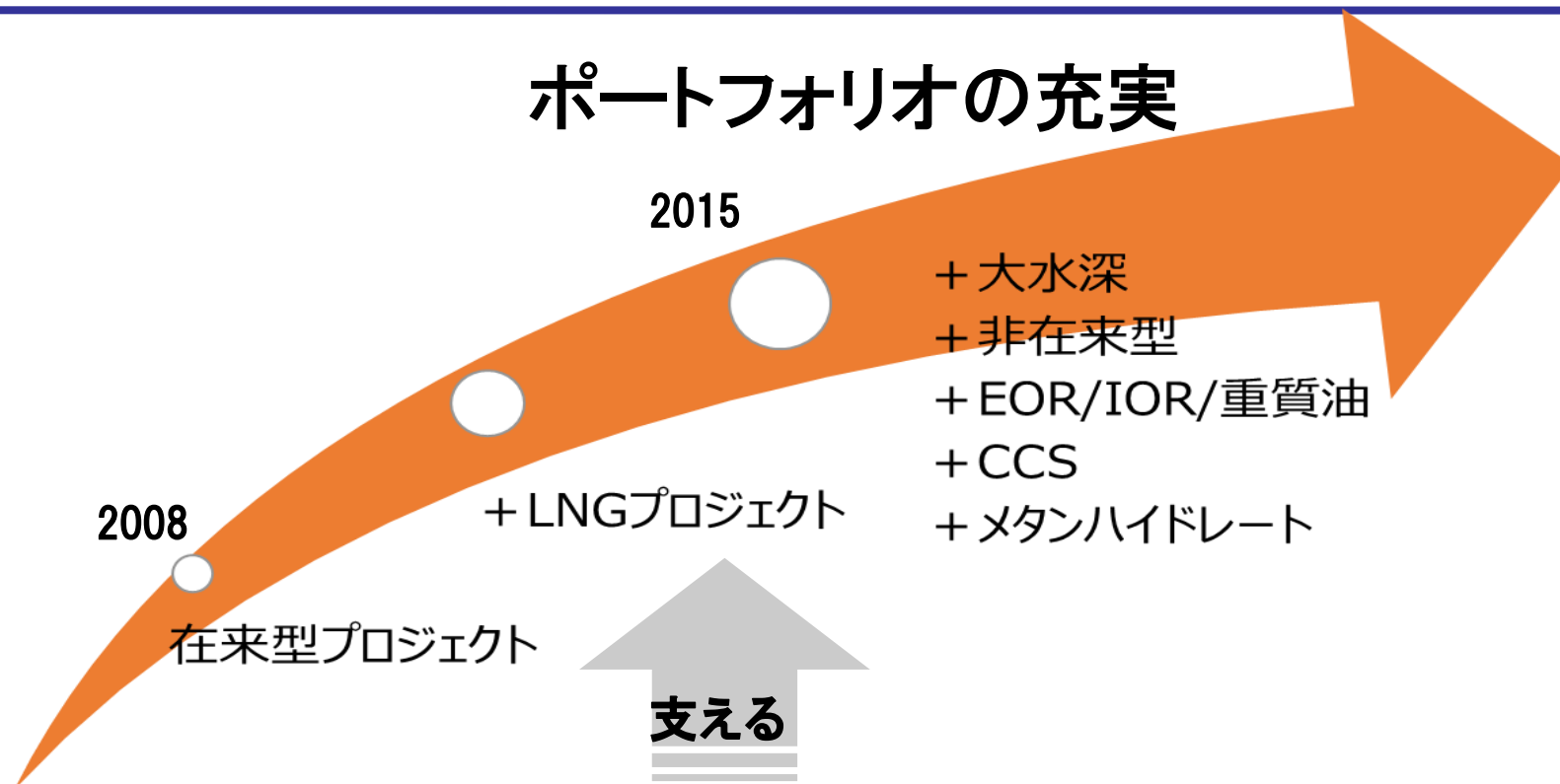


確認埋蔵量



*確認埋蔵量の定義は、米国証券取引委員会 (SEC) 規則に従っており、地質的・工学的データに基づき、現在の経済性条件及び操業条件の下で、契約期限までの間に合理的な確実性を以て回収することが可能である石油・ガスの数量。

ポートフォリオの充実



支える

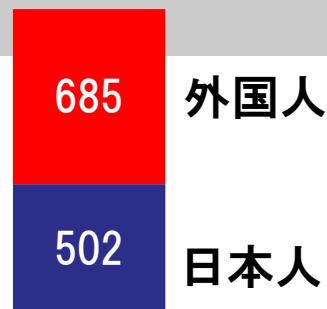
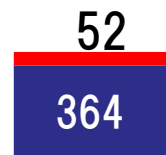
人材

技術戦略

現場

より難易度の高い資源開発に挑む+温暖化対策に積極的に対応

- イクシス
- アバディ
- アブダビ
- 国内
- その他

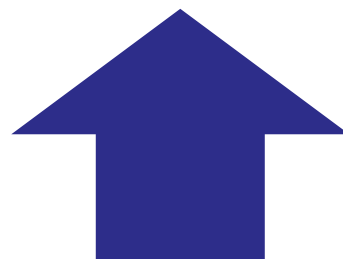


2008

2015

INPEXグループの技術者数の推移

**大規模オペレーター/準オペレータープロジェクト
(豪州・アブダビ・インドネシア・本邦)**



**グローバル基準に基づく人材の確保・育成
及びプロジェクト管理システム、HSEの遵守**



**新規プロジェクト開発本部による
新規投資の一元管理・投資基準明確化**

オーストラリア イクシスLNGプロジェクト 1/2



陸上生産施設建設(ダーウィン)の様子(2015年11月)



プロジェクト概要

- 生産量(予定): LNG890万トン/年、LPG160万トン/年、コンデンセート約10万バレル/日(ピーク時)
- 最終投資決定(FID): 2012年1月
- 生産開始予定: 2017年第3四半期(2017年7月-9月)

大規模

年間約890万トンのLNG生産を計画
(LNG約890万トンは現在の日本のLNG輸入の1割程度)

日本企業初

日本企業として初めてオペレーター
(操業主体)として取り組む大型LNGプロジェクト

豊富なコンデンセート・LPG

LNGに加え原油分(コンデンセート(軽質油)日量約10万バレル(ピーク))、LPG年間160万トンも豊富

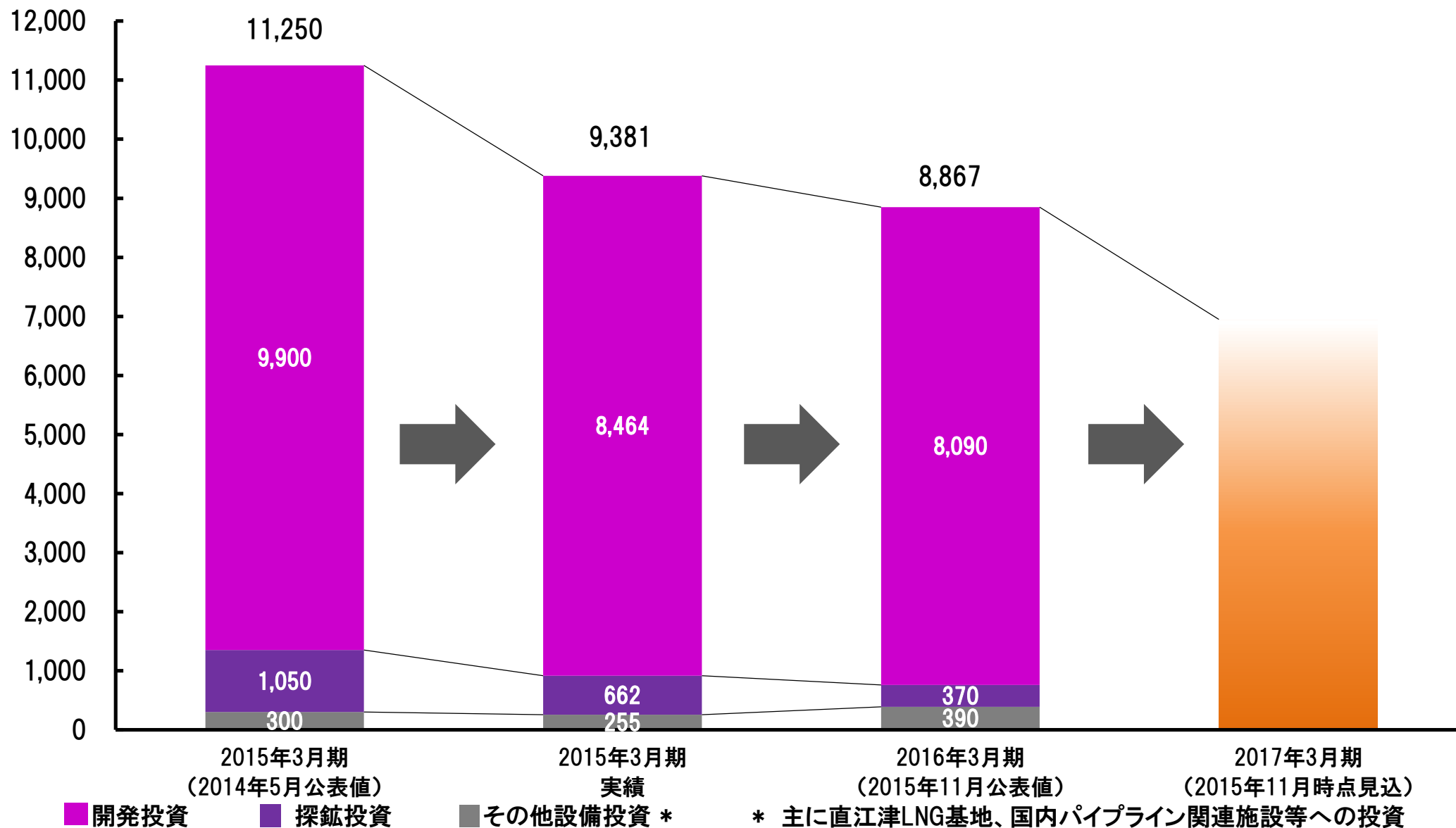
パートナー

当社62.245%、石油メジャーの仏TOTAL 30.0%、台湾CPC社2.625%、東京ガス1.575%、大阪ガス1.2%、関西電力1.2%、東邦ガス0.420%、中部電力0.735%



原油価格下落への取り組み

投資額の2015年3月期(実績)と2016年3月期見込みの比較(単位:百万米ドル)



- 開発案件、探鉱案件へのJOGMEC出資制度の拡充
- 開発案件へのJOGMEC保証制度の拡充と基盤強化
- これらに必要な予算の確保、政府保証借入の活用
- JOGMECとの協働による技術開発、実証研究及び人材育成
- 税制面、政策融資、貿易保険面での充実
- 安定的な開発、操業のための資源外交の強力な推進
 - ・ 適切な経済条件の確保
 - ・ 制度面での安定性・透明性などの投資環境の整備

御清聴ありがとうございました。



Energy for a Bright Future

INPEX